

外資系転職サイト「ダイジョブ」 全面リニューアル ～「複数履歴書登録」など、一層の機能充実で転職活動を効率化～

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、外資系、バイリンガルに特化した総合人材サービス事業を展開する株式会社ダイジョブ(本社: 東京都港区南青山7-8-1、代表取締役: 横部延寿、以下ダイジョブ)は、10月16日に、日本最大級のバイリンガルのための転職サイト「ダイジョブ」を全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルは、サイトの機能を大幅追加・強化し、転職希望者に応募しやすい環境を提供すると共に、採用企業側は望む人材の検索が容易になるなど、応募-採用のマッチング機能の強化を図ったものです。

また、中国語など日本語・英語以外の多言語のレベル登録-検索が可能になるなど、「バイリンガル」を超えた「マルチリンガル」人材を確保する機能も補強し、グローバル・ビジネス時代の人材ニーズに応える転職サイトへの展開を図っています。

サイトのリニューアルを受けて、ダイジョブでは今後、在日中の中国語など多国語を操れる諸外国の人材への告知広告など、マルチリンガル人材へのプロモーションを強化してまいります。

URL: 日本語サイト「ダイジョブ」 <http://www.daijob.com>
英語サイト「Work in Japan」 <http://www.workinJapan.com>

■ リニューアルのポイント

1) ユーザー機能の充実

1人の登録ユーザーが、日本語と英語履歴書を同時に5種類ずつ登録できる「複数履歴書登録」や、英語圏ではスタンダードな「カバーレター作成」、現勤務先名などを非表示にできる「勤務先企業の公開/非公開 選択」、特定の企業からの公開履歴書の閲覧を防ぐ「企業ブロック」など、転職活動をより効率化するための機能を大幅に追加しました。

2) 言語能力の詳細登録、検索機能の充実

中国語など、3カ国以上の言語が操れるマルチリンガル・ユーザーの増加を受けて、英語以外の言語のレベル登録ができるなど、語学に強い転職希望者が、より能力をアピールできるようになりました。

人材を探す企業にとっては、特定の言語能力を持つ転職希望者が検索しやすくなり、より充実したグローバル人材の採用ツールになりました。

3) 英語サイトと日本語サイトのブランド統一

今までは、外国と日本のユーザーの違いを考慮して個別のブランディングで展開してきましたが、今後、アジアを中心とした諸外国への「ダイジョブ」ブランドイメージの浸透を図るため、英語と日本語サイトのブランドを統一しました。



以上のように、今回のリニューアルは、転職希望者、求人企業双方が、より効果的「転職-採用」ツールとしての強化を図るものです。ダイジョブは、今後も転職市場のニーズに合わせたサービスの提供に努めてまいります。

[株式会社ダイジョブ]

外資系企業を中心に、バイリンガル市場にフォーカスしたオンラインおよびオフラインのリクルーティング・ソリューションを提供する総合人材サービス会社。1998年に日本初のバイリンガル特化型転職サイトとしてサービス開始、累積20万人を超える登録ユーザー、月間300万PVを誇る。2005年4月より、ヒューマンホールディングスの事業子会社。

■事業内容

- 1) メディア広告事業 日本最大のバイリンガル向け転職情報サイト「Daijob.com(www.daijob.com)」英語求人サイト「Work in Japan(www.workinjapan.com)」の運営
- 2) コンサルティング・サービス事業 「Daijob Consulting(AMBITION)」(有料職業紹介事業 許可番号 13-04-ユ-0594)
- 3) 人材派遣事業「Daijob.派遣(ダイジョブ・ドット・派遣)」(厚生労働大臣許可番号 般 13-301182)

[お問い合わせ]

株式会社ダイジョブ マーケティング&コミュニケーションズ

Tel: 03-3499-3228 Fax: 03-3499-2153 Email: marketing@daijob.com